

## 藤沢商工会議所経営発達支援計画（平成 30 年度上期分）に対する事業評価会議結果について

開催日時：平成 30 年 11 月 20 日（火）午後 2 時～3 時 50 分

開催場所：藤沢商工会議所 2 階会議室

本所経営発達支援計画に基づき、記載の事業（平成 30 年 4 月 1 日～9 月 30 日実績分）について、地域の状況を把握している外部有識者（5 名）による、事業の検証会議を開催し、実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行った。

事業の評価については、推進状況、成果、満足度等を A（大いに良好）・B（良好）・C（見直し）といったランク付けにより評価を数値化する。

A 評価・・・事業の実施状況、内容、成果が 80%以上の評価

B 評価・・・事業の実施状況、内容、成果が 50%～79%の評価

C 評価・・・事業の実施状況、内容、成果が 49%以下の評価

外部有識者（順不同）

- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 慶應藤沢イノベーションビレッジ
- ・神奈川県かながわ中小企業成長支援ステーション（中小企業支援課 海老名駐在事務所）
- ・藤沢市 経済部産業労働課
- ・日本政策金融公庫横浜支店 国民生活事業
- ・神奈川県よろず支援拠点（中小企業診断士）

事務局出席者 4 名

経営発達支援計画に対する事業評価結果

次のとおり

## 藤沢商工会議所経営発達支援計画（平成30年度上期実績分）に対する事業評価結果

### 1. 地域の経済動向・需要動向に関する情報提供

事業等	評価				
(1) 日商 LOBO 調査、景気ウォッチャー調査、雇用動向調査	A	A	A	B	B
(2) 経済動向調査の分析説明会	A	C	B	B	A
(3) 景気動向・需要動向等について調査及び分析、公表	A	A	A	A	A

講評等：ほぼ予定通り実施されており、高い水準で達成されていると思料。

経済動向調査は、下半期の実施月が具体的に決まっているので、C評価でも問題は無いと考える。地域の経済動向等の情報を経営力向上計画や経営革新計画策定支援に活用していくとよい。情報ファイルで活用事例の紹介をするとよい。

一部回数数が目標に達していないが、全体として十分に実施されている。

会報等で非常にわかりやすく情報発信をしているので、引き続き、内外に向けた発信をお願いしたい。

若干未実施のものもあるが、全体としては高いレベルで実施していると思われる。

### 2. 経営分析に関すること

事業等	評価				
(1) 経営分析	A	A	A	A	A
(2) 業種別情報交換会	A	C	C	B	A

講評等：高い水準で目標達成しているものと思料する。

経営分析の利用者の声をホームページ等で紹介するとよい。

情報交換会の下期での実施を期待する。

分析件数が大きく伸びている点を評価する。引き続き、連携機関と協力しながら事業者の強みや弱みを適切に把握、還元してほしい。

業種別情報交換会は前期末実施であったが、後期に実施予定であるということで、全体としてはA評価と判断。

### 3. 事業計画策定支援に関すること

事業等	評価				
(1) 経営計画策定支援セミナー	A	C	C	C	C
(2) 個別専門家相談	A	A	A	A	A
(3) 事業計画策定支援	A	A	B	B	C
(4) 小規模事業者経営発達支援融資	C	C	C	B	C

(5) 経営革新支援	A	A	A	A	A
(6) 創業支援	A	B	B	A	B

講評等：総合的に目標を達成しているものと思料。

専門家相談や事業計画策定支援は着実に効果が出ていると評価できる。創業塾と神奈川県事業引継ぎ支援センターの後継者バンクと連携すると、効果が出ると思われる。

セミナー関係の参加者増への対応について期待する。

個別専門家相談や経営革新セミナーの件数が伸びている点を評価する。引き続き力を入れ、持続化補助金の採択や経営革新認定の増加に繋げてほしい。

これらの個別支援については、単発やセミナーだけの取組みで成果を上げることは難しいので、日常的な取組みの中で計画的に進める必要があると思われる。

#### 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業等	評価				
(1) 事業計画策定後の支援	A	C	B	B	C

講評等：総合的に目標を達成しているものと思料。

過去の経営革新計画承認企業のその後のフォローアップを行うとよいと思われる。

前年並みの実績が期待できる。

フォローアップで計画策定後の事例を数多くストックすることで、今後の計画策定支援に還元できるようになるので、多忙とは思いますが、対応を継続していただきたい。

小規模事業者の持続的発展のためのフォローアップについては、事業者自身がどこまでフォローアップを望むのかという問題もあり、難しい側面がある。

#### 5. 需要動向調査に関すること

事業等	評価				
(1) 需要動向分析	A	C	B	B	B

講評等：下半期の具体的な実施日程が決まっており問題はない。

本年は下期2回の実施で集客を期待します。

G I Sを効果的に活用することで特に創業者の創業計画策定にあたっての大きな助けとなるので、セミナー等の活用により、周知の取組みを継続していただきたい。

後期に実施が予定されており、小規模事業者の参加の動機付けが必要と思われる。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

事業等	評価				
(1) イベントによる需要の開拓と販路拡大	A	A	A	A	A
(2) 商工会議所等連携によるビジネス交流会	A	B	A	A	A
(3) 公的機関等との受発注促進	B	C	B	B	C
(4) ① I T活用による需要の開拓 (B t o Cの販路拡大)	C	C	C	C	C
②         "                         (B t o Bの販路拡大)	A	B	B	A	B
③         "                         (商圏分析ツールによる需要開拓)	B	C	B	B	C
(5) 観光客をターゲットとした需要開拓	B	B	A	B	A
(6) 展示会等への出展支援	B	C	C	B	C
(7) 海外展開による支援	B	C	C	B	C

講評等：概ね目標は達成しているものと思料。

ビジネス交流会はやり方を工夫した効果が出ており、高く評価できる。観光客をターゲットとした需要開拓は、今後進めていくキャッシュレスの取組みと連携できると良い。

メニューはたくさんあるので、効果のあるものに注力を期待。今後、市との連携で効果拡大を。

イベントの出展による受注獲得により、その後の取引につながる事例もあるので、引き続き力を入れ、元気な藤沢を内外に発信できるよう、取組みをお願いしたい。

イベントやビジネス交流会等の開催には積極的に取組んでおり、大きな成果をあげている。I T活用、商圏分析ツール活用、展示会出展、海外展開などについては、今後の取組みを期待したい。

## 7. 地域経済の活性化に資する取組

事業等	評価				
(1) 藤沢宿遊行の盆	B	C	A	A	C
(2) ブランド料理等の新製品研究・開発	B	C	C	A	C
(3) 藤沢駅周辺の商店街と大型店が連携事業「LOVE 藤沢」	A	A	A	A	A

講評等：天候の影響等を勘案。概ね目標を達成しているものと思料。

ブランド料理等の新製品研究開発は、商品ができたので、取扱店を増やす、P Rに力を入れていくことが重要である。

年を重ねるごとに藤沢の重要な取組みとなっている。(2)はハードルが高いと思う。

地域資源を活用した取組みを積極的に行っており、今後も継続をお願いします。

(1)の集客については、これまで毎年高い実績を確保してきたが、今年は台風の影響もあり、やむを得ない事情もある。今後も継続的に推進して下さい。

## 8. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業等	評価				
(1) 経営革新セミナー・創業セミナーの関係機関との連携・取組	A	A	A	B	A
(2) 企業情報交換会事業の取組	A	C	A	B	B
(3) 厚木基地とのビジネスマッチング事業の取組	A	A	A	B	A
(4) 県下商工会議所との情報交換についての取組	A	A	A	B	A
(5) 日本政策金融公庫等の支援機関との情報交換についての取組	A	A	A	A	A

講評等：総合的に目標を達成しているものと思料。...

支援力向上のため各機関との連携がとれている。県信用保証協会、市、産業振興財団との4者連携は経営発達支援事業の支援力向上に繋がっていくと考える。

多くのメニューがあるので、参加者の拡大を期待。

米軍基地とのビジネスマッチング事業といった特徴的な事業を行っており、他の商工会議所等と連携しながら、引き続き、経営発達支援事業を推進してほしい。

各方面との連絡会を定期的開催しており、地域内での情報共有に力を入れていると思われる。...

## 9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

事業等	評価				
(1) 経営指導員の研修内容	A	A	A	B	A
(2) 専門家と経営指導員との支援体制	A	A	A	B	A
(3) 経営指導員の情報共有	A	A	A	B	A
(4) 商圈分析手法、経営計画書策定に関する研修	A	A	A	B	A
(5) 経営指導員の自己研鑽	A	A	A	B	A

講評等：計画通り達成されているものと思料。

資質向上の取組みは効果的に実施されている。

組織の力の源である資質向上に十分取り組まれている。

多忙の中、多くの研修会に参加され、引き続き取組みをお願いしたい。

各種の研修会、連絡会議にも積極的に参加するとともに、自己研鑽制度の導入も積極的に進めている。...

## 10. 経営発達支援計画に基づく全体的な事業評価

評 価				
A	B	A	A	A

講評等：全体として目標を達成しているものと考える。

上半期に目標数値に達していないものもあるが、下半期に具体的な計画が決まっているものも多くあり、評価できる。

様々な取組みをされており、小規模事業者にとって、頼りになる組織であると感じる。今後もニーズを拾いながら継続してほしい。

年度途中の点や、取組みによる達成率の上下はあるが、全体として見れば、多忙の中、適切に推進しており、総合的に80%以上の評価は可能と思われる。引き続き、地域経済の中核として、積極的な取組みをお願いしたい。

小規模事業者に対する継続的支援活動では、若干実施が低いものの、支援の仕組みとしては、様々な制度運用を進めているので、今後はこれらの制度を知らしめて、支援実績を高めてほしいと思います。